

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2019年10月15日
【四半期会計期間】	第20期第1四半期（自 2019年6月1日 至 2019年8月31日）
【会社名】	サイバーステップ株式会社
【英訳名】	CyberStep, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 佐藤 類
【本店の所在の場所】	東京都杉並区和泉一丁目22番19号
【電話番号】	03-5355-2085（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 緒方 淳一
【最寄りの連絡場所】	東京都杉並区和泉一丁目22番19号
【電話番号】	03-5355-2085（代表）
【事務連絡者氏名】	取締役 緒方 淳一
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

## 第一部【企業情報】

### 第1【企業の概況】

#### 1【主要な経営指標等の推移】

回次	第19期 第1四半期連結 累計期間	第20期 第1四半期連結 累計期間	第19期
会計期間	自2018年6月1日 至2018年8月31日	自2019年6月1日 至2019年8月31日	自2018年6月1日 至2019年5月31日
売上高 (千円)	2,375,075	3,092,424	11,553,537
経常利益又は経常損失 ( ) (千円)	99,400	38,413	84,710
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期(当期)純損失 ( ) (千円)	110,769	40,843	303,749
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	104,844	34,111	277,172
純資産額 (千円)	3,506,015	4,345,696	3,762,910
総資産額 (千円)	4,540,341	5,474,293	4,784,971
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期(当期)純損失 (円)	17.18	5.66	45.54
潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益 (円)	-	5.48	-
自己資本比率 (%)	74.1	77.4	75.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等を含めておりません。

3. 第19期第1四半期連結累計期間及び第19期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期(当期)純損失であるため記載しておりません。

#### 2【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

#### (1) 経営成績の状況

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、企業収益や雇用環境の改善を背景として緩やかに回復基調が続いておりますが、米中貿易摩擦をはじめとする海外の政治情勢の不安定化が続き、景気の先行きについては依然として不透明な状況が続いております。

わが国のオンラインゲーム市場においては、引き続きユーザー数は伸びているものの、提供タイトルが増加しており、ユーザーの獲得競争が続いております。また、ソーシャルネットワークサービスやWebブラウザゲームなどが幅広い層へと広がっており、引き続き事業環境の変化が続いております。

このような環境の中、当社グループの既存サービスにつきましては、引き続きユーザーの満足度を意識したサービス体制の構築を進め、新規サービスにおいてはその開発に注力してまいりました。

現在、主力サービスであるクレーンゲームアプリ「トレバ」においては、効果的なプロモーション媒体の活用や、より快適にプレイ頂けるサービス体制の強化などに努めつつ、定期的なキャンペーンの実施や限定景品の取り扱いを進めてまいりました。2019年8月1日からは「ふなっしー」を起用したテレビCMの放送を実施するなど、サービスの活性化を促すと共に認知度の向上に繋がる取り組みに注力し、コスト削減の面においても景品の配送及び保管に係る業務の見直しを進めることで、売上高及び利益面において国内・海外共に好調に推移いたしました。

この結果、当第1四半期連結累計期間においては、売上高は3,092百万円となり、前年同期に比べ、30.2%の増収となりました。

利益面につきましては、営業利益96百万円（前年同期は営業損失92百万円）、経常利益38百万円（前年同期は経常損失99百万円）、税金等調整前四半期純利益44百万円（前年同期は税金等調整前四半期純損失100百万円）、親会社株主に帰属する四半期純利益40百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失110百万円）となりました。

当社グループはオンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、セグメントごとの記載はしておりません。

#### (2) 財政状態の状況

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ689百万円増加し、5,474百万円となりました。これは主に、現金及び預金495百万円、貯蔵品235百万円の増加によるものであります。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ106百万円増加し、1,128百万円となりました。これは主に、未払金73百万円、未払費用26百万円の増加によるものであります。

##### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ582百万円増加し、4,345百万円となりました。これは主に、資本金292百万円、資本剰余金292百万円の増加によるものであります。

#### (3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき事業上及び財務上の課題について重要な変更はありません。

#### (4) 研究開発活動

当第1四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は14百万円であります。

なお、当第1四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 3【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 第3【提出会社の状況】

#### 1【株式等の状況】

##### (1)【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	19,400,000
計	19,400,000

###### 【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間末 現在発行数(株) (2019年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2019年10月15日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	7,648,301	7,653,101	東京証券取引所 (市場第二部)	単元株式数は100 株であります。
計	7,648,301	7,653,101	-	-

(注)「提出日現在発行数」欄には、2019年10月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

##### (2)【新株予約権等の状況】

###### 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

###### 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2019年6月1日～ 2019年8月31日 (注)	578,100	7,648,301	292,668	2,442,477	292,668	1,507,267

(注)新株予約権の権利行使による増加であります。

##### (5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2019年5月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2019年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 7,067,400	70,674	-
単元未満株式	普通株式 2,701	-	-
発行済株式総数	7,070,201	-	-
総株主の議決権	-	70,674	-

(注) 単元未満株式の欄には、自己株式が99株含まれております。

【自己株式等】

2019年8月31日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
サイバーステップ株式会社	東京都杉並区和泉一丁目22番19号	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間（2019年6月1日から2019年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年6月1日から2019年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表について、アスカ監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年5月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	2,430,734	2,926,617
売掛金	634,447	689,653
商品	2,064	1,867
仕掛品	8,979	8,979
貯蔵品	439,023	674,671
未収還付法人税等	18,315	18,315
その他	388,713	245,665
貸倒引当金	29,463	28,139
流動資産合計	3,892,814	4,537,632
固定資産		
有形固定資産	535,809	537,374
無形固定資産	113,047	164,582
投資その他の資産		
その他	264,290	256,693
貸倒引当金	20,990	21,990
投資その他の資産合計	243,300	234,703
固定資産合計	892,157	936,660
資産合計	4,784,971	5,474,293
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,209	1,306
1年内返済予定の長期借入金	23,031	23,585
未払金	699,319	773,204
未払費用	162,011	188,837
未払法人税等	20,886	13,189
預り金	24,967	28,731
その他	66,476	81,566
流動負債合計	997,902	1,110,420
固定負債		
長期借入金	13,886	8,330
退職給付に係る負債	10,272	9,846
固定負債合計	24,158	18,176
負債合計	1,022,061	1,128,597
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,149,809	2,442,477
新株式申込証拠金	13,395	-
資本剰余金	1,214,599	1,507,267
利益剰余金	214,743	255,587
自己株式	419	419
株主資本合計	3,592,127	4,204,912
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	38,332	31,600
その他の包括利益累計額合計	38,332	31,600
新株予約権	132,449	109,183
純資産合計	3,762,910	4,345,696
負債純資産合計	4,784,971	5,474,293

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
売上高	2,375,075	3,092,424
売上原価	485,091	544,775
売上総利益	1,889,984	2,547,649
販売費及び一般管理費	1,982,715	2,451,552
営業利益又は営業損失( )	92,730	96,096
営業外収益		
受取利息	17	641
出資分配金	-	2,149
為替差益	1,981	-
貸倒引当金戻入額	2,537	324
その他	362	1,904
営業外収益合計	4,898	5,019
営業外費用		
支払利息	330	108
外国源泉税	6,043	9,130
出資金償却	-	12,715
為替差損	-	36,089
支払手数料	3,630	3,408
その他	1,562	1,250
営業外費用合計	11,568	62,702
経常利益又は経常損失( )	99,400	38,413
特別利益		
新株予約権戻入益	754	5,872
特別利益合計	754	5,872
特別損失		
関係会社株式評価損	1,802	-
特別損失合計	1,802	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失( )	100,448	44,285
法人税、住民税及び事業税	10,321	3,441
法人税等合計	10,321	3,441
四半期純利益又は四半期純損失( )	110,769	40,843
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失( )	110,769	40,843

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
四半期純利益又は四半期純損失( )	110,769	40,843
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	5,925	6,732
その他の包括利益合計	5,925	6,732
四半期包括利益	104,844	34,111
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	104,844	34,111
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

【注記事項】

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
減価償却費	78,306千円	62,088千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ532,533千円増加しております。この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金は1,930,227千円、資本剰余金は995,017千円となっております。

当第1四半期連結累計期間(自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)

1. 配当に関する事項

該当事項はありません。

2. 株主資本の著しい変動

当第1四半期連結累計期間において、新株予約権の行使により、資本金及び資本剰余金はそれぞれ292,668千円増加しております。この結果、当第1四半期連結会計期間末において、資本金は2,442,477千円、資本剰余金は1,507,267千円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社グループは、オンラインゲーム事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年6月1日 至 2018年8月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年6月1日 至 2019年8月31日)
(1) 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失( )	17円18銭	5円66銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	110,769	40,843
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失( )(千円)	110,769	40,843
普通株式の期中平均株式数(株)	6,446,353	7,219,900
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	-	5円48銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	-	232,323
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(注) 前第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり四半期純損失であるため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2019年10月15日

サイバーステップ株式会社

取締役会 御中

### アスカ監査法人

指 定 社 員 公認会計士 若 尾 典 邦  
業 務 執 行 社 員

指 定 社 員 公認会計士 石 渡 裕 一 朗  
業 務 執 行 社 員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているサイバーステップ株式会社の2019年6月1日から2020年5月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（2019年6月1日から2019年8月31日まで）及び第1四半期連結累計期間（2019年6月1日から2019年8月31日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

#### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

#### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

#### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、サイバーステップ株式会社及び連結子会社の2019年8月31日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

#### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. X B R L データは四半期レビューの対象には含まれていません。